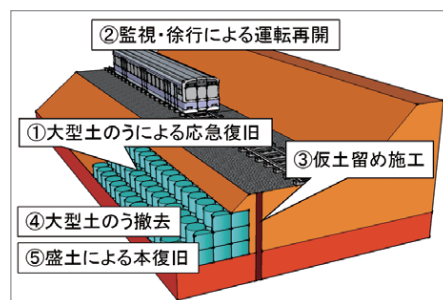


## 被災盛土の早期・強化復旧工法

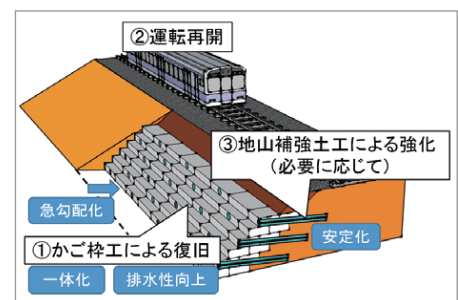
中島進 佐藤武斗

大雨や大地震による盛土の崩壊により、鉄道運行が支障する場合があります。盛土が崩壊した場合、盛土は早急に復旧する必要があります。一方で、将来の降雨や地震による再度の崩壊を避けるために、盛土を強化して復旧することも重要ですが、復旧期間の長期化につながります。そこで、こうした相反する課題を解決するために、地山補強材とかご枠を併用して被災した盛土を早期に強化して復旧する方法を開発しました。提案工法では相互に連結されたかご枠内に碎石やバラストなどを投入・転圧し

て流出した盛土部分を復旧します。単純に盛土により復旧する場合と比較して、碎石やバラスト充填による排水性の向上や、かご枠工の一体化による安定性の向上効果も期待でき、通常の盛土よりも急勾配化(1:1程度)して盛土部を復旧することが可能です。また、必要に応じてかご枠内に保孔管を設置することで列車運行再開後に地山補強材をあと施工することも可能です。



従来復旧法



提案工法